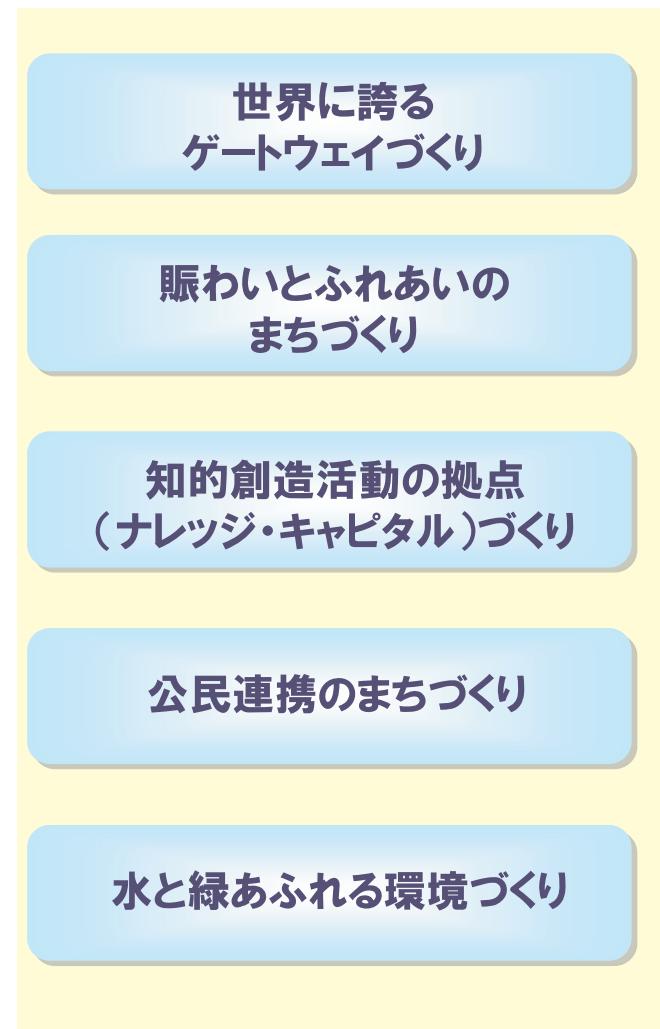


## 北梅田開発“創造の宮”

知の循環によって豊かな未来生活を創造する街

## まちづくり基本計画とゾーニング計画

<まちづくり基本方針(まちづくりの5つの柱)>



<土地利用ゾーニング>



～図：都市再生機構パンフレットより～

(注)記載の内容は、現在計画中のものであり、今後変更される場合があります

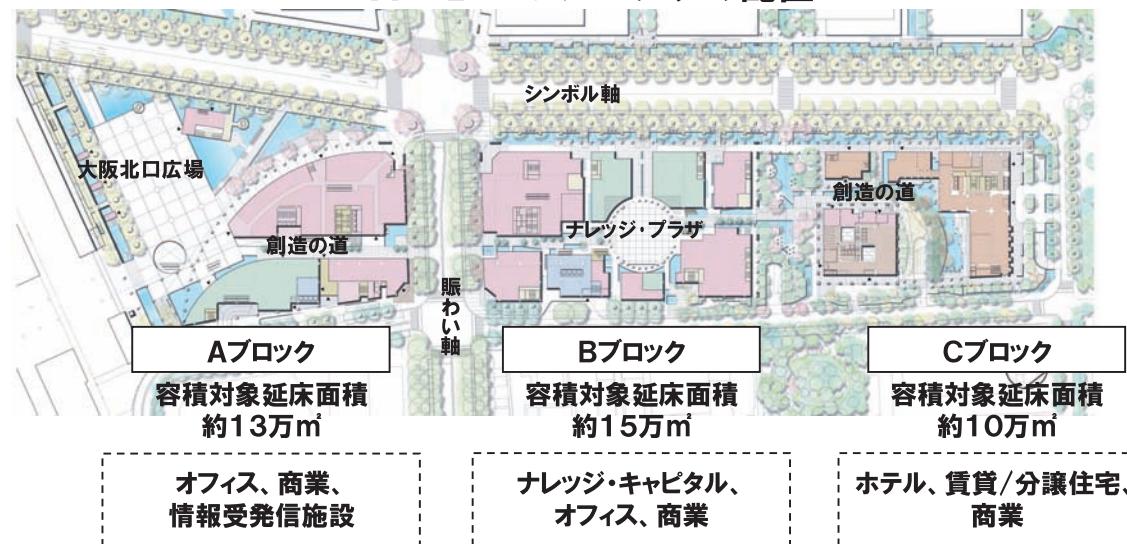
## 先行開発区域の開発コンセプトとブロックの配置

### ■ 自律性を拡張性を兼ね備えた「創造の宮」の起動プロジェクトを形成



～図：都市再生機構パンフレットより～

### < A・B・C ブロックの配置 >



(注)記載の内容は、現在計画中のものであり、今後変更される場合があります

## ナレッジ・キャピタル計画

### ■ キーコンセプト：未来生活の創造・受発信拠点（ナレッジキャピタル推進室報告書より）

北梅田の持つ高いポテンシャルを活かし、最先端の有望なナレッジ（人・情報・技術・知識）を資源として、未来生活の提案・体感・学習をテーマとした人・モノ・情報のインターフェースにより、新たなナレッジを創出する「未来生活の創造・受発信拠点」

### <大阪駅北地区先行開発区域A・B・Cブロック開発事業者募集の事業企画提案より>

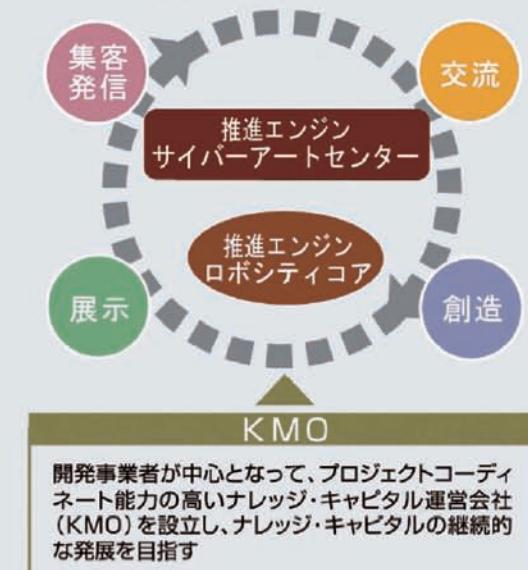
#### ■8つの技術分野と4つのコラボレーション機能が融合

- 「先端技術がもたらす未来生活」をテーマに、「ロボットテクノロジー」と「ユビキタス・IT・デジタルコンテンツ」の2つの先端技術分野を中心に8つの技術分野を集積
- ナレッジ・キャピタルの基本機能（創造、展示、集客、発信、交流）に沿って、4つのコラボレーション機能を用意し、8つの分野を有機的に融合



#### ■コラボレーションの推進エンジン

ナレッジ・キャピタルの基本機能を兼ね備えた複合施設（=推進エンジン）がナレッジ・キャピタル内の創造・展示・集客・発信・交流機能を強力に循環させ、魅力的なコラボレーション環境を創出



～図：都市再生機構パンフレットより～

(注)記載の内容は、現在計画中のものであり、今後変更される場合があります

## 先行開発区域の都市空間イメージ

### <大阪駅北地区先行開発区域A・B・Cブロック開発事業者募集の事業企画提案より>

<大阪北口広場の鳥瞰とシンボル軸の見通し>  
賑わいに囲まれた、大阪を象徴する地上の広場を計画



<ABCブロック全体イメージ～南西側から～>  
建物の高さ、壁面のデザイン等が調和した  
一体的なまちなみを形成



<ナレッジ・モール>  
(創造のみち)

(注)記載の内容は、現在計画中のものであり、今後変更される場合があります

## 先進的な都市環境創造

<大阪駅北地区先行開発区域A・B・Cブロック開発事業者募集の事業企画提案より>

1

### まち全体にユビキタスネットワーク 環境を整備

- ・固定通信と移動通信が融合したシームレスでセキュアな通信環境の整備

2

### ユビキタス環境を活用した さまざまなタウンサービスを展開

- ・次世代型ユビキタスプラットフォームの構築

3

### 誰もがいつでも安全・安心に 活動できるまちを実現

- ・防災広場の確保、防災ネットワークの構築
- ・ユニバーサルデザインの推進

### 次世代ユビキタスプラットフォーム (ソフト)

- ①情報受発信機能
- ②会員管理機能(個人情報管理は徹底)
- ③認証機能(サービス利用時の認証)
- ④データ蓄積機能  
(マーケティングデータの収集)

### 敷地間ネットワークインフラ (域内通信基盤)



管理・運営

(注)記載の内容は、現在計画中のものであり、今後変更される場合があります

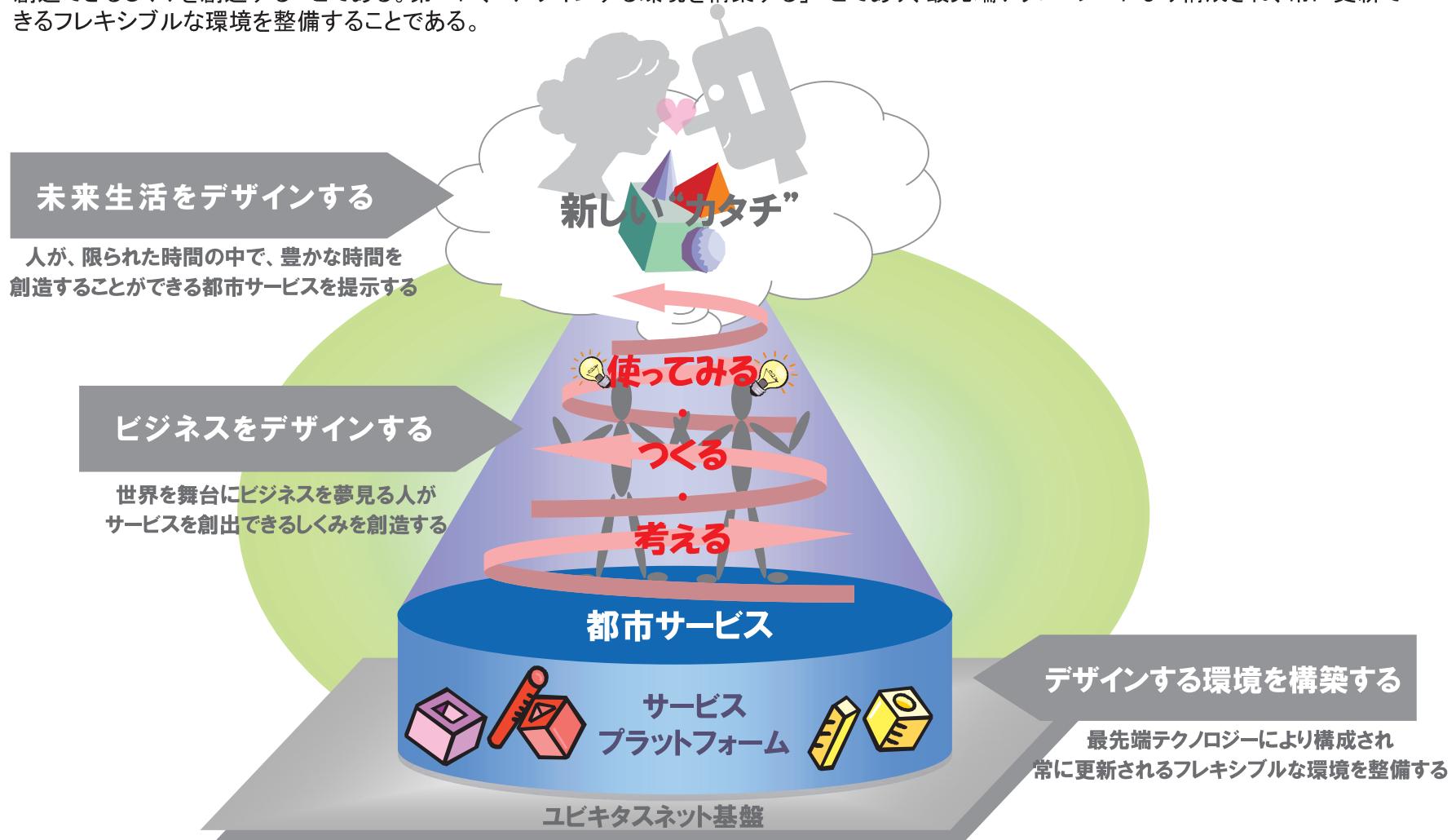


## 第2章. 知能化共創空間

## 知能化共創空間とは

### ■ 人とテクノロジーの新しい“カタチ”を「考え・つくり・使ってみる」ことができる仕組みが装備された空間

- ・知能化共創空間とは、人とテクノロジーの新しい“カタチ”をデザインするため、未来生活を創造したいと考える人たちが、“考え・つくり・使ってみる”ことができる仕組みが装備された空間である。
- ・その実現に向けてのアプローチとして、まず第一に「未来生活をデザインする」ことであり、人が、真の豊かさを実感できるテクノロジーとの関係を都市サービスとして提示することである。第二に、「ビジネスをデザインする」ことであり、世界を舞台にビジネスを夢見る人が、サービスを創造できるしくみを創造することである。第三に、「デザインする環境を構築する」ことであり、最先端テクノロジーにより構成され、常に更新できるフレキシブルな環境を整備することである。



## 未来生活をデザインする

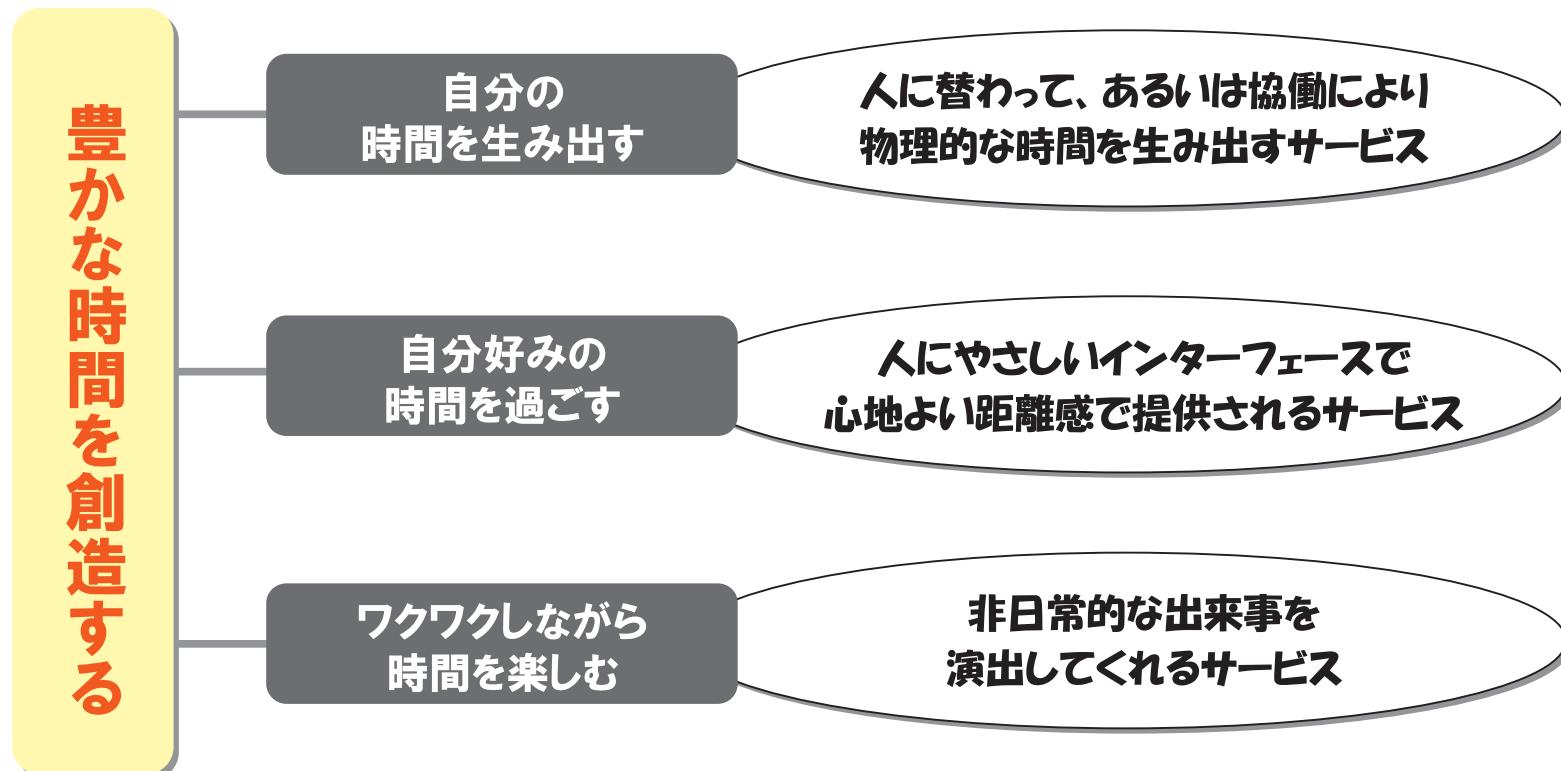
人が、限られた時間の中で、豊かな時間を過ごすことができる都市サービスを提示する

## 豊かな時間を創造する都市サービスを提供する

未来生活をデザインする

### ■ 自分の時間を生み出し、自分好みに過ごすことができ、ワクワクしながら時間を楽しめる

- 人が豊かさを感じる時は千差万別であるが、突き詰めると人に与えられた共通の制約である時間、つまり「1日24時間」という限られた時間をいかに豊かに過ごすことができたかという満足感や達成感ではないだろうか。
- そういった豊かな時間を創造するには、自分の時間を生み出し、その生み出された時間を自分好みに過ごすことができ、そしてワクワクしながら時間を楽しめるサービスを提供することが重要である。
- 「時間を生み出す」ためには、今まで人が担ってきたタスク(作業)を人に替わって、あるいは協働により物理的な時間を生み出すサービスが求められる。「自分好みの時間を過ごす」ためには、人にやさしいインターフェースを持つサービスが、心地よい距離感で提供されること、また「ワクワクしながら時間を楽しむ」ためには、非日常的な出来事を演出してくれるサービスが求められる。



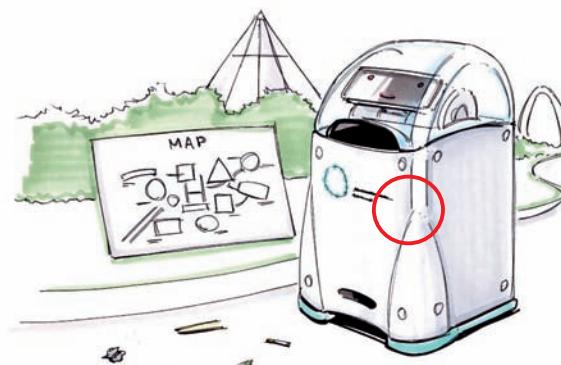
## 自分の時間を生み出す

未来生活をデザインする

### ■ 人に替わって、あるいは協働より物理的な時間を生み出すサービス

- ・時間を生み出すサービスを提供するプロセスの中では、人が担ってきた役割をテクノロジーによって全てを置き換える場合と、人とテクノロジーが最適なバランスで組み合わされた形態が考えられる。
- ・前者は、これまで人が担ってきた掃除作業を自律走行可能な掃除ロボットに置き換え、さらに空き時間にはまちの案内ロボットとして活躍するといったサービスで、後者は障害者の自由度を高めるパワーアシストや仕事をしながらでも離れた子どもの様子を見守れるといったサービスが考えられる。
- ・これらのサービスによって手に入れた時間は、さらなる利便・効率化のために使われるのではなく、家族と過ごす時間や自分の好きな仕事をする時間、また趣味やボランティアの時間等、自分の人生を豊かにするための時間として費やされることが望まれる。

昼間は案内、夜は掃除等の作業  
を行う業務ロボット



業務を効率的にこなせるように  
サポートしてくれるバーチャル秘書



障害者の自由度を高める  
パワーアシストシステム



仕事をしながら、離れた子どもの様子を  
見ることができる見守りサービス

## 自分好みの時間を過ごす

## 未来生活をデザインする

### ■ 人にやさしいインターフェースで心地よい距離感で提供されるサービス

- ・北梅田には世界中から多様な人が訪れ、はじめての人にもリピーターにも快適なサービスを提供することが求められる。
- ・サービス提供のプロセスとしては、はじめての人には個人を特定せず個や群といった単位で、まちがその状況を理解・把握し、「その場限り」の揮発的サービスを提供する。そして、そのサービスに関心を持った利用者が能動的に個人の情報を登録するようなテイラーメイドな付加価値の高い永続的サービスへと発展させていくことが必要である。
- ・また、サービス提供時においては、提供者側の押し付けではなく、利用者にとって心地よいタイミングで、またその人にやさしいインターフェースを持って提供されることが重要であり、ICTを実生活空間でより容易に活用しようとするユビキタスネット技術と、人とのインターフェースの役割を担う次世代ロボット技術の融合により実現される。

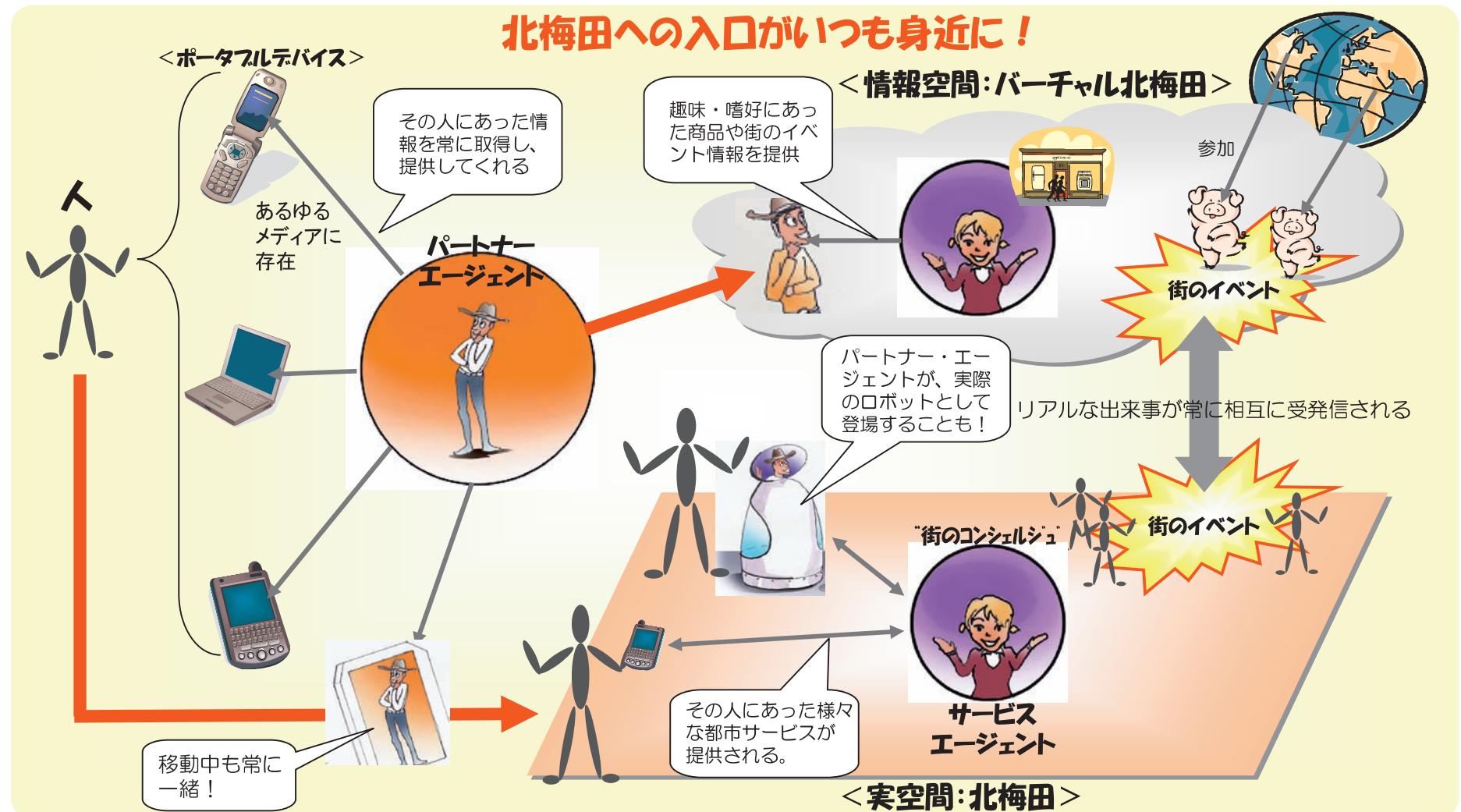


# ワクワクしながら時間を使おこなう

未来生活をデザインする

### ■ 非日常的な出来事を演出してくれるサービス

- ・「パートナー・エージェント」が常に自分の身近なデバイスに存在し、実空間と情報空間を行き交い、街のコンシェルジュ機能を持つ「サービス・エージェント」と連携しながら、その人にあったサービスや情報等をタイミングよく提供してくれる等、”北梅田への入口がいつも身近“に感じられるサービスを提供する。
  - ・また、実際にまちを訪れると、情報空間にいたパートナー・エージェントが、本物のロボットとして登場するといった演出も必要である。



## 都市サービス利用シーン<1>:パートナー・エージェントと連携

未来生活をデザインする

### ■ 北梅田の街がおすすめする“あなたにピッタリのお店”



今日は仕事帰りにちょっと時間に余裕がある。“ちょっと寄り道して帰ろうか”と思いながら、梅田を歩いていると、にぎやかな雰囲気の北梅田がどうも気になって立ち寄ってみた。そこで、いつも持ち歩いている「パートナー・エージェント」を取り出してみた。“いつも、気の利いたアドバイスをしてくれるコイツに最近はずいぶん助けてもらっているもんな”

そこで、パートナー・エージェントにオフの予定を確認する。“コイツはほんとに俺のことをよくわかっている”と感心する。あと3週間で、妻との10年目の結婚記念日だし、下の娘の誕生日も近づいてきた。そんなことを考えながら、この前、テレビを見ていたら、北梅田に評判になっているっていう店が出てたのを、パートナー・エージェントはちゃんと覚えていた。“よーし、今日は寄り道ついでに、プレゼントの品定めでもするか！”

パートナー・エージェントが北梅田KMOの店舗案内システムと連携しながら、おすすめのショップをガイドしてくれる。目の前のディスプレイが、私専用のガイド画面に切り替わる。次々とおすすめのショップが現れ、ダイジェストでお店の紹介をしてくれる。

“ちょうど、いいものがあれば、いいんだが”という私にピッタリの店がありそうだ。

それでは、ここからは、北梅田の人気マスコットになっているサービスロボットの案内で、ショップへ連れてってもらうか。サービスロボットとは、会話も楽しめる。店への案内の途中に、“妻には、スカーフ。そうだ、子供には、絵本をプレゼントしたいんだが”と相談すると、最近の北梅田のベストセラーの売れ筋商品の紹介、スカーフにピッタリのコーディネートができるプローチなんてのも教えてくれる。妻へのサプライズ効果を高めるには、こうした提案はありがたい。

今年の結婚記念日は、きっと愛する妻に喜んでもらえるはずだ。ちょっと寄り道のつもりが思わぬ収穫になりそうだ。サービスロボットに“これからも頼りにしてるよ”と話し掛けて、私は、評判のあの店へと導かれていった。



## 都市サービス利用シーン<2>:起業家になれる街

未来生活をデザインする

### ■ ビジネスアイデアが“カタチ”になる、ベンチャービジネス創造スポット「北梅田」



就職するか、起業するか、迷っていた大学生の私の背中を押してくれたのは、両親でもなく、彼でもなく、友人でもなく、北梅田だった。「シューカツ」では、自分オリジナルのビジネスアイデアを売り込み、“新規事業部門に配属して欲しい”と訴え続けたものの、ほとんどの企業は、最初から新規事業を担当させるわけにはいかない。“3年か5年は修業してもらうことになるよ”という回答ばかり。私の「思い出を記録する新サービス」って、そんなにイケてない提案なの？と落ち込んでいた。

でも、相棒の友人と久しぶりに出かけた北梅田。街を行き交う人の多さと何かが起こりそうと予感させるこの街の雰囲気。落ち込んでいた私を元気にしてくれる。

実は前から、北梅田はちょっと気になる存在だった。クリエーターやギャラリストが集まっていると評判の『北梅田SNS会員』に登録してたの。いつも持ち歩いている「パートナー・エージェント」から、会員だと特別席が利用できる「北梅田クリエイティブ・カフェ」を予約して、さっそく行ってみた。

“うーん”いかにもそれらしいクリエーターっぽい人から外国人、研究者コンサルタントみたいないろんな人が来ている。カフェの内装も、テーブルとディスプレイが一体化してたり、サービスロボットが人に混じって会話していたり、未来空間って感じ。

ここなら、私のアイデアに意気投合してもらえる人がきっといるはずだわ。パートナー・エージェントから私のビジネスアイデアを発信して、即フレゼンをはじめちゃおう！パートナー・エージェントからすぐに反応が。よしそうSNS会員たちと、さっそく打合せよ。ここだと、すぐにコラボレーションできるし、アイデアが形になりそう。集まってきた人たちで、まるで、企画会議みたいな雰囲気になってきた。ここからは、真剣なビジネスの話だから、「バーチャル会議室」で本格的に検討しようっていう人を中心にコラボレーションするメンバーを募ることに。

コラボメンバーの一人が、“これはおもしろい！この北梅田をフィールドにビジネスプランを練って、事業にしたいと思うけど、どう？”“ああ、なんか夢のよう。さっきまでの私はもうそこにはいなかった。事業家としてスタートを切る気持ちは固まった。

北梅田のビジブルロボットとパートナー・エージェントを組み合わせた「思い出をカタチにする新サービス」。会社設立のお金なんてなくても、投資家はカフェで出会ったメンバーに紹介してもらえた。ビジネスを形にするプラットフォームは、北梅田KMOのシステムを活用すれば、システムに弱い私でも大丈夫。カフェで出会ったメンバーは、今では私の会社の有力な参謀役になってもらった。

明日は私にとってのビジネス記念日。いよいよ北梅田で、新サービス「マイメモリー」がスタートする。



## 都市サービス利用シーン<3>: ユニバーサルな街

未来生活をデザインする

### ■ 世界一の観光地「北梅田」 日本が初めての外国人でも楽しめる街



閑空2期も完成し、大阪で外国人の姿を目にする機会が増えてきた。なかでも北梅田は、観光で日本にやってくる外国人にとって今いちばんホットなスポット。いまでは、北梅田は、大阪一の観光スポットといつても過言ではない。

今日は、仕事で知り合った上海在住の中国人・孔さんのファミリーを案内することになっている。仕事のときは、中国語の話せる部下といっしょで、会話も不自由ということはないけど、プライベートの案内まで、部下を引き連れてくるわけにはいかないので、今日は、俺一人。不安がないといえば、ウソになる。

でも、北梅田は、そんな俺にも強い味方がいる。街には翻訳システムが常備されている。孔さんたちが、私が普段使っているパートナー・エージェントに話し掛ければ、パートナー・エージェントがそのまま翻訳機ってくれる。ロボットテクノロジーとITが融合すると、夢のような技術が現実のサービスになるってことなんだな。これは何でも「けいはんな学研都市」で生まれたシステムらしい。すごい研究機関が関西にはあるもんだ。

パートナー・エージェントを持っていない人だって、サービスロボット貸し出しサービスを利用すれば、サービスロボットが翻訳機として大活躍。いろんな機能をもったサービスロボットは、今や北梅田の人気者。

“あっ、孔さん。こっちこっち”。子供たちも笑顔でやってくる。

子供たちは初めての外国で、ちょっと緊張気味。孔さんの奥さんもなんだか不安げ。でも大丈夫。ここ北梅田は、安心・安全のシステムもバッチリ。子供たちの行動を見守るポーター型ロボットや子供たちの腕に装着するタイプの見守りロボット、もちろん、街の安全を見守るアンコンシャス型のロボットなど、ユーザーの意向にあわせて、子供たちを見守るシステムがあるんだ。

子供たちは、腕に装着するタイプのぬいぐるみ型ロボットがお気に入りらしい。自慢げに街歩きを楽しんでもらえそうだ。孔さん夫婦もたまには、子供抜きで買物やデートを楽しみたいんじゃない。

それでは、私が、よりすぐりのデートコースをアレンジしよう。といつても、パートナー・エージェントにお任せなんだけど。おっと、その前にポーターロボットに荷物を駐車場まで運んでもらおう。孔さんとの何気ない会話の中から、情報を読み取って、おすすめスポットを提案するこの仕組み、“ほんとに助かるよな”それじゃ、子供たちは、この場所で再会することにして、今日は、北梅田を思いっきり楽しんでもらうぞ！

